



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月2日  
東・名

上場会社名 ユニー株式会社 上場取引所  
コード番号 8270 URL http://www.uny.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前村 哲路  
問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 専務執行 役員 経理財務部担当 (氏名)越田 次郎 (TEL)0587(24)8066  
四半期報告書提出予定日 平成24年7月3日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	252,011	△2.8	9,767	7.1	9,506	9.9	20,647	—
24年2月期第1四半期	259,204	△3.0	9,120	62.3	8,652	73.6	△2,285	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 20,510百万円(—%) 24年2月期第1四半期 △4,536百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年2月期第1四半期	円 銭 104 53	円 銭 —
24年2月期第1四半期	△11 57	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	965,997	277,559	27.0
24年2月期	964,594	347,499	25.2

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 261,131百万円 24年2月期 242,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	9 00	—	10 00	19 00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	11 00	—	11 00	22 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	526,500	△2.0	23,800	2.2	22,600	0.1	28,800	—	145 79
通期	1,057,000	△2.1	45,400	3.2	42,700	0.7	37,500	350.5	189 83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):有

新規一社(社名)、除外1社(社名)株式会社鈴丹

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 :無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無

② ①以外の会計方針の変更 :無

③ 会計上の見積りの変更 :無

④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	198,565,821株	24年2月期	198,565,821株
25年2月期1Q	1,041,065株	24年2月期	1,019,378株
25年2月期1Q	197,535,599株	24年2月期1Q	197,551,719株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	5
【第1四半期連結累計期間】 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 決算参考資料 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、一部に緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、欧州の財政危機を背景とした欧米経済の先行きへの懸念や円高の長期化などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する小売業界におきましても、低価格・節約志向の継続、同業他社や他業態との競争の激化など、引き続き厳しい状況が続きました。

このような経済状況の中、当社は、本年2月の当社取締役会において、連結子会社である(株)サークルKサンクスの公開買付けによる完全子会社化、ならびにユニーグループの持株会社制への移行を決議いたしました。来期からは持株会社「ユニーグループ・ホールディングス株式会社」の下、各事業会社が連携し、商品開発・物流機能・販促活動等の各分野におけるグループシナジーの最大化を更に推進し、人材・資金等経営資源の最適配分を図るとともに、海外出店・M&A・新規事業開発等のグループ戦略を明らかにし、企業価値の益々の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当第1四半期のグループ連結業績は、営業収益2,520億11百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益97億67百万円(前年同期比7.1%増)、経常利益95億6百万円(前年同期比9.9%増)となりました。特別利益として(株)サークルKサンクスの公開買付けによる負ののれん発生益164億71百万円を計上したこと等により四半期純利益は206億47百万円(前年同期は四半期純損失22億85百万円)となりました。

## (セグメント別の業績の動向)

当第1四半期から「コンビニエンスストア」セグメントに含めていた(株)99イチバが当社の完全子会社化に伴い「狭商圏小型スーパーマーケット」に業態変更したことにより、「総合小売業」セグメントに含めております。なお、前年同期比は前年同期を変更後の区分に組み替えた上で算出しております。

## &lt;総合小売業&gt;

総合小売業は営業収益1,919億90百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益39億36百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

ユニー(株)においては、「GMS事業の改革」「グループシナジー」「海外出店」「ITビジネス」「店舗開発戦略」「既存事業部」「エコ・ファーストの約束」の7つの基本戦略を掲げ、社会貢献と成長戦略、収益力向上を目指しております。「GMS事業の改革」では、「マーチャンダイジング改革」「現場主義」「ローコスト経営」を徹底し、改善活動・VP(ビジュアルプレゼンテーション)・レベルアップ・環境マネジメントの4つの運動を地道に継続します。「グループシナジー」では、(株)サークルKサンクスとの協業によるスケールメリットの創出を行い、食品本部に商品企画開発部を新設し商品開発の強化とIT物流部・営業企画部によるタスクチームの推進を図っております。(株)99イチバの完全子会社化では、狭商圏小型スーパーマーケット「ミニピアゴ」の展開により、都市部を中心としたマーケット対応を実施していきます。

また、昭和58年に「APITA」という名称を初めて使用してから、今年でアピタ誕生30周年を迎えます。「おしゃれ・新しさ・楽しさ」をキーワードにアピタは今後も進化していきます。3月より30周年の感謝の気持ちを込めて、「アピタ誕生30周年企画」として、記念企画やプレゼント企画など、さまざまな営業活動を実施していきます。当第1四半期では、「アピタ オリジナルランチトート」応募プレゼント企画や「ハルパス(30の特典クーポンブック)」プレゼントなどを実施しました。

しかしながら、住居関連及び食品部門において前年の震災による売上高拡大の反動や天候不順により、既設店売上高は前年同期比3.1%減(衣料0.3%増、住居関連6.1%減、食品3.1%減)となりました。

当セグメントの営業費用は、「ローコスト経営」の継続による人件費や賃借料の減少などにより、1,880億54百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

ユニー(株)の当四半期末店舗数は閉店1店舗により226店舗、ユニー香港は3店舗、(株)99イチバは出店1店舗により64店舗となりました。

## &lt;コンビニエンスストア&gt;

コンビニエンスストアは営業収益395億66百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益52億3百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

(株)サークルKサンクスにおいては、東北地域を中心とした被災地における既存店売上高前年比が高い伸び率を示し、重点カテゴリーのカウンターフーズをはじめとしたファーストフードや惣菜などのいわゆる「中食」商品も好調を維持しました。また、加盟店からの収入は増加しましたが、政策的に自営店の削減を進めた結果、自営店売上高が減少しました。営業費用は、ファーストフードや加工食品を中心に値入率が改善されたことに加え、自営店関連経費などの販売費及び一般管理費を削減したこと、343億62百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

当四半期末店舗数は出店81店舗、閉店48店舗により5,581店舗となりました。なお、非連結のエリアフランチャイザーを含む合計店舗数は6,208店舗となりました。

<専門店>

専門店の営業収益は167億52百万円(前年同期比0.7%増)、営業損失3億21百万円(前年同期は営業損失7億53百万円)となりました。

㈱さが美においては、きもの事業において前年に震災により自粛した展示販売会の開催や優良顧客向けの展示販売会を新規に開催したこと等により既設店売上高は前年同期比108%と改善しております。ホームファッション事業においては、前年の震災による日用雑貨の売上高の拡大等の反動はありましたが、既設店売上高はほぼ前年並みとなりました。その結果、営業収益51億30百万円(前年同期比1.4%増)、営業損失6億35百万円(前年同期は営業損失8億66百万円)となりました。当四半期末店舗数は出店1店舗、閉店1店舗により301店舗となりました。

㈱パレモにおいては、平成24年2月21日付で㈱鈴丹と合併し、両社の資産及びノウハウを共有するなど様々な統合効果を得ることにより、更なる成長を図っております。既存店売上高は前年同期比0.1%増となり、合併による規模拡大もあり、営業収益は103億10百万円(前年同期比51.3%増)、営業利益は2億87百万円(前年同期比98.7%増)となりました。当四半期末店舗数は、期首に㈱鈴丹の店舗232店舗を加え、出店7店舗、閉店23店舗により800店舗となりました。

<金融>

金融の営業収益は41億53百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益8億9百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

㈱UCSにおいては、カード事業において包括信用購入あっせん(カードショッピング)はポイント換算率のアップや、当社での営業企画拡大により好調に推移しましたが、融資は貸金業法の総量規制により取扱高、残高ともに厳しい状況が継続しております。保険リース事業においては損害保険やアフラック保険ショップの契約数が好調に推移しております。その結果、営業収益41億55百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

当セグメントの営業費用は、適正な与信管理により貸倒関連費用は減少しましたが、包括信用購入あっせん取扱高の好調によるポイント費用が増加したこと等により、33億43百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は9,659億97百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億3百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

また有利子負債は、前連結会計年度末に比べて354億50百万円増加し、3,711億54百万円になりました。

純資産の当第1四半期末残高は2,775億59百万円となり、この結果、自己資本比率は27.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年4月9日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、株式会社鈴丹は株式会社パレモと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	100,659	119,113
受取手形及び売掛金	62,126	62,573
有価証券	42,008	19,010
商品	45,801	49,704
短期貸付金	20,474	19,742
繰延税金資産	5,849	5,584
その他	56,486	62,716
貸倒引当金	△3,669	△3,520
流動資産合計	329,737	334,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	208,249	205,741
工具、器具及び備品(純額)	7,517	7,343
土地	195,190	195,022
リース資産(純額)	26,482	27,830
建設仮勘定	1,921	3,157
その他(純額)	3,438	3,422
有形固定資産合計	442,800	442,517
無形固定資産		
のれん	12,783	12,456
その他	20,239	19,712
無形固定資産合計	33,023	32,168
投資その他の資産		
投資有価証券	17,132	16,381
長期貸付金	1,267	1,241
繰延税金資産	17,101	17,600
差入保証金	107,150	104,470
その他	18,334	18,391
貸倒引当金	△1,952	△1,698
投資その他の資産合計	159,033	156,387
固定資産合計	634,857	631,073
資産合計	964,594	965,997

ユニー(株)(8270) 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,187	110,693
短期借入金	5,391	41,784
1年内返済予定の長期借入金	65,908	83,108
コマーシャル・ペーパー	59,500	63,000
未払金	37,699	33,648
未払法人税等	8,848	2,358
繰延税金負債	4	—
役員賞与引当金	150	40
賞与引当金	6,436	6,518
ポイント引当金	1,084	1,437
その他	66,834	92,076
流動負債合計	341,045	434,665
固定負債		
長期借入金	189,309	166,439
リース債務	12,021	12,861
繰延税金負債	699	706
再評価に係る繰延税金負債	74	74
退職給付引当金	1,468	1,422
利息返還損失引当金	2,217	2,197
負ののれん	1,232	1,037
長期預り保証金	52,807	53,104
資産除去債務	12,983	12,927
その他	3,236	3,004
固定負債合計	276,050	253,773
負債合計	617,095	688,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,129	10,129
資本剰余金	58,824	58,824
利益剰余金	175,220	193,926
自己株式	△1,207	△1,206
株主資本合計	242,967	261,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,823	1,306
繰延ヘッジ損益	81	16
土地再評価差額金	△419	△419
為替換算調整勘定	△1,552	△1,445
その他の包括利益累計額合計	△66	△542
少数株主持分	104,599	16,427
純資産合計	347,499	277,559
負債純資産合計	964,594	965,997

ユニー(株)(8270) 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
売上高	217,964	209,174
売上原価	159,564	153,090
売上総利益	58,400	56,084
営業収入		
不動産収入	9,960	10,216
手数料収入	31,279	32,620
営業収入合計	41,239	42,836
営業総利益	99,639	98,920
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	588	686
貸倒引当金繰入額	273	51
給料及び手当	25,665	25,031
賞与引当金繰入額	3,625	3,312
退職給付引当金繰入額	1,246	1,233
利息返還損失引当金繰入額	453	381
賃借料	21,767	21,404
減価償却費	7,286	7,389
その他	29,613	29,661
販売費及び一般管理費合計	90,519	89,152
営業利益	9,120	9,767
営業外収益		
受取利息	202	207
受取配当金	101	111
負ののれん償却額	196	196
持分法による投資利益	27	267
受取補償金	54	64
テナント内装工事負担金	—	1
その他	177	261
営業外収益合計	760	1,111
営業外費用		
支払利息	1,005	952
支払補償費	167	106
支払手数料	—	283
その他	55	30
営業外費用合計	1,228	1,372
経常利益	8,652	9,506



ユニー(株)(8270) 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	79	56
貸倒引当金戻入額	80	—
負ののれん発生益	—	16,471
段階取得に係る差益	258	—
その他	23	54
<b>特別利益合計</b>	<b>443</b>	<b>16,581</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	140	324
減損損失	2,515	2,328
災害による損失	1,673	—
投資有価証券評価損	269	376
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,481	—
その他	127	41
<b>特別損失合計</b>	<b>13,208</b>	<b>3,070</b>
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,112	23,018
法人税、住民税及び事業税	2,397	2,126
法人税等調整額	△2,532	△133
<b>法人税等合計</b>	<b>△135</b>	<b>1,993</b>
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,977	21,024
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,691	377
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>△2,285</b>	<b>20,647</b>

ユニ一(株)(8270) 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△3,977	21,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△498	△552
繰延ヘッジ損益	△10	△64
為替換算調整勘定	△105	106
持分法適用会社に対する持分相当額	55	△3
その他の包括利益合計	△559	△514
四半期包括利益	△4,536	20,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,827	20,171
少数株主に係る四半期包括利益	△1,709	339

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合小売業	コンビニエンスストア	専門店	金融	その他	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	191,401	46,884	16,631	3,356	930	259,204	-	259,204
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	559	1	-	738	3,855	5,155	△5,155	-
計	191,960	46,886	16,631	4,095	4,786	264,360	△5,155	259,204
セグメント利益又は損失(△)	4,565	4,347	△753	825	136	9,120	△0	9,120

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「コンビニエンスストア」セグメントにおいて、土地の時価下落が著しい店舗及び閉店が予定されている店舗、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗について、2,508百万円の減損損失を計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年2月21日 至 平成24年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合小売業	コンビニエンスストア	専門店	金融	その他	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	191,436	39,564	16,750	3,347	912	252,011	-	252,011
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	553	1	2	806	3,849	5,213	△5,213	-
計	191,990	39,566	16,752	4,153	4,761	257,224	△5,213	252,011
セグメント利益又は損失(△)	3,936	5,203	△321	809	141	9,769	△2	9,767

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前連結会計年度において「コンビニエンスストア」セグメントに含めていた株式会社99イチバを「生鮮コンビニ」から「狭商圈小型スーパーマーケット」に業態変更したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「総合小売業」セグメントに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「コンビニエンスストア」セグメントにおいて、土地の時価下落が著しい店舗及び閉店が予定されている店舗、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗について、2,227百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

「コンビニエンスストア」セグメントにおいて、連結子会社の株式会社サークルKサンクスの株式を公開買付けにより取得したことに伴い、16,398百万円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4.決算参考資料

### (1) 連結決算

#### ①連結業績

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減	前 期 比
営業収益	252,011	259,204	▲ 7,193	97.2%
営業利益	9,767	9,120	647	107.1%
経常利益	9,506	8,652	854	109.9%
四半期純利益	20,647	▲ 2,285	22,932	—

※営業利益、経常利益、四半期純利益は、連結決算第1四半期累計における過去最高益です。

#### ②セグメント別の業績

百万円

	営業収益				営業利益			
	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比
総合小売業	191,990	194,601	▲ 2,610	98.7%	3,936	4,589	▲ 653	85.8%
コンビニエンスストア	39,566	44,245	▲ 4,679	89.4%	5,203	4,323	880	120.4%
専門 店	16,752	16,631	121	100.7%	▲ 321	▲ 753	432	—
金 融	4,153	4,095	58	101.4%	809	825	▲ 15	98.2%
そ の 他	4,761	4,786	▲ 24	99.5%	141	136	4	103.6%
計	257,224	264,360	▲ 7,135	97.3%	9,769	9,120	649	107.1%
消去または全社	▲ 5,213	▲ 5,155	▲ 57	—	▲ 2	0	▲ 1	—
連 結 計	252,011	259,204	▲ 7,193	97.2%	9,767	9,120	647	107.1%

※従来、コンビニエンスストア事業に含まれていた(株)99イチバにつきましては、当期より総合小売業に事業区分を変更しております。なお、前期についても変更後の事業区分に組替えをしております。

#### ③セグメント別の主な個別会社の情報

##### ○総合小売業

百万円

	ユニー				ユニー香港			
	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比
営業収益	185,646	187,730	▲ 2,084	98.9%	4,203	4,323	▲ 119	97.2%
営業利益	3,893	4,377	▲ 484	88.9%	134	178	▲ 43	75.6%
経常利益	3,634	4,377	▲ 743	83.0%	142	186	▲ 43	76.7%
四半期純利益	1,756	▲ 266	2,022	—	117	129	▲ 11	90.9%
既存店伸長率	96.9%	99.6%	▲ 2.7%		101.5%	100.9%	0.6%	

※ユニー香港の既存店伸長率は、現地通貨ベース。

※ユニー香港 期中平均換算レート：当期1Q 1香港ドル= 10.22 円、前期1Q 1香港ドル= 10.67 円

##### ○コンビニエンスストア

	サークルKサンクス連結			
	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比
営業収益	39,566	46,886	▲ 7,320	84.4%
営業利益	5,585	4,756	828	117.4%
経常利益	5,536	4,709	826	117.5%
四半期純利益	1,852	▲ 1,733	3,585	—
既存店伸長率	99.0%	103.0%	▲ 4.0%	

##### ○金融

百万円

	U C S			
	当期1Q	前期1Q	増 減	前期比
	4,155	4,097	58	101.4%
	571	561	9	101.8%
	573	563	9	101.7%
	337	313	24	107.8%

ユニー(株)(8270) 平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

○専門店

百万円

	さが美連結				パレモ			
	当期1Q	前期1Q	増減	前期比	当期1Q	前期1Q	増減	前期比
営業収益	5,130	5,059	71	101.4%	10,310	6,814	3,495	151.3%
営業利益	▲635	▲866	230	—	287	144	142	198.7%
経常利益	▲636	▲868	231	—	489	153	336	319.0%
四半期純利益	▲676	▲1,271	595	—	1,634	▲270	1,904	—
既存店伸長率	105.6%	87.7%	17.9%		100.1%	84.8%	15.3%	

	モリエ			
	当期1Q	前期1Q	増減	前期比
営業収益	1,311	1,346	▲35	97.4%
営業利益	33	▲92	125	—
経常利益	31	▲94	125	—
四半期純利益	26	▲136	163	—
既存店伸長率	103.4%	89.1%	14.3%	

④営業外収益の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増減
受取利息	207	202	5
受取配当金	111	101	10
受取補償金	64	54	9
持分法による投資利益	267	27	239
負ののれん償却額	196	196	0
営業外収益計	1,111	760	350

⑤営業外費用の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増減
支払利息	952	1,005	▲52
支払補償費	106	167	▲61
支払手数料	283	—	283
営業外費用計	1,372	1,228	143

⑥特別利益の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増減
固定資産売却益	56	79	▲23
負ののれん発生益	16,471	—	16,471
段階取得に係る差益	—	258	▲258
特別利益計	16,581	443	16,138

⑦特別損失の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増減
減損損失	2,328	2,515	▲187
固定資産処分損	324	140	183
投資有価証券評価損	376	269	107
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	—	8,481	▲8,481
災害による損失	—	1,673	▲1,673
特別損失計	3,070	13,208	▲10,137

(2) 個別決算

①個別業績

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減	前 期 比
営業収益	185,646	187,730	▲ 2,084	98.9%
直営売上高	176,093	178,431	▲ 2,337	98.7%
営業総利益	52,892	53,438	▲ 545	99.0%
営業利益	3,893	4,377	▲ 484	88.9%
経常利益	3,634	4,377	▲ 743	83.0%
四半期純利益	1,756	▲ 266	2,022	—

②第1四半期の新設店舗及び閉店店舗

	店 名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日	前期 第1四半期
新設店舗					
閉店店舗	ピアゴ浜松泉町店 (建替)	浜松市中区	5,587 m <sup>2</sup> (4,952 m <sup>2</sup> )	H24. 5.20	ピアゴ今池店

※第1四半期期末店舗数は、前期同期末に比べ1店舗減の226店舗です。

③売上伸長率

%

		平成25年2月期				前期 3~5月
		3月	4月	5月	3~5月	
衣料品	既設店	104.8	99.7	97.7	100.3	96.7
	全店	107.4	98.7	100.9	101.9	93.4
住関連品	既設店	90.3	94.8	96.5	93.9	100.8
	全店	93.8	93.4	99.2	95.4	97.5
食品	既設店	95.5	97.2	98.0	96.9	99.9
	全店	99.9	95.8	100.7	98.7	98.0
直営	既設店	95.9	97.1	97.7	96.9	99.6
	全店	99.9	95.9	100.4	98.7	97.2

※既設店の売上伸長率は、曜日調整をしております、うるう年の影響はありません。

※全店の売上伸長率は、曜日調整をしております。

④客数・客単価の状況 (既設店)

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減
買い上げ客数	97.6%	98.0%	▲ 0.4%
客 単 価	101.2%	101.1%	0.1%

⑤荒利率

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減
衣 料 品	39.0%	38.0%	1.0%
住 関 品	28.7%	28.5%	0.2%
食 品	20.6%	21.2%	▲ 0.6%
直 営	24.6%	24.7%	▲ 0.1%

⑥販管費の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減	前 期 比
人 件 費	23,746	24,506	▲ 759	96.9%
広 告 費	3,536	2,985	550	118.5%
内 装 費	160	49	111	326.1%
賃 借 料	6,238	6,448	▲ 209	96.8%
減 価 償 却 費	3,623	3,755	▲ 132	96.5%
水 道 光 熱 費	2,624	2,370	253	110.7%
そ の 他	9,068	8,944	123	101.4%
販 管 費 計	48,999	49,061	▲ 61	99.9%

⑦営業外損益の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減
受 取 利 息	97	110	▲ 13
受 取 配 当 金	239	275	▲ 36
支 払 利 息	▲ 609	▲ 644	34
金 融 収 支	▲ 272	▲ 257	▲ 15
負ののれん償却額	195	195	—
貸倒引当金繰入額	▲ 8	▲ 23	15
そ の 他	▲ 173	85	▲ 258
営業外損益計	▲ 258	0	▲ 258

⑧特別利益の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減
固定資産売却益	39	3	35
そ の 他	0	—	0
特別利益計	40	3	36

⑨特別損失の主な項目

百万円

	平成25年2月期 第1四半期累計	平成24年2月期 第1四半期累計	増 減
減 損 損 失	4	—	4
固定資産処分損	232	74	157
投資有価証券評価損	372	256	115
資産除去債務会計基準 の適用に伴う影響額	—	3,463	▲ 3,463
災害による損失	—	746	▲ 746
そ の 他	—	126	▲ 126
特別損失計	608	4,667	▲ 4,058